

J A F 公認国内競技
公認番号 2026-5105

2026年J A F九州ラリー選手権第3戦
2026年J M R C九州ラリーチャンピオンシリーズ第3戦



第38回FMSCマウンテンラリー2026



開催日 2026年6月13日(土) 14日(日)

特別規則書(草案)

オーガナイザー 福岡モータースポーツクラブ (FMSC)
後援 佐賀県神埼市, 吉野ヶ里町
協力 吉野ヶ里歴史公園 王仁博士顕彰公園
吉野ヶ里メガソーラー発電所 てるてるの森
* Snow Peak GROUNDS YOSHINO GARI

[公 示]

本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟（以下「JAF」という）の公認のもとに、FIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠したJAFの国内競技規則とその細則、2026年日本ラリー選手権規定、ラリー競技開催規定および2026年JMRC九州ラリー統一規則、TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2026 シリーズ規則書及び本競技会特別規則に従い開催される。

第1条 プログラム

参加申込期間	選手権クラス	2026年5月 9日（土）5月 26日（火）
	TGRRRC クラス	2026年5月 16日（土）5月 26日（火）
参加申込先	選手権クラス	九州選手権クラス 大会事務局
	TGRRRC クラス	TGRRRC クラス TGRRRC2026 シリーズ規則書に準ずる

2026年6月13日（土）	時間	場所
サービスパークオープン	10:00 ～ 18:00	王仁博士顕彰公園駐車場
HQ 開設時間	10:00 ～ 18:00	王仁博士顕彰公園休憩舎
TGRRRC ラリーマナー講習	10:30 ～ 11:00	HQ
公式掲示板		Sportity（電子掲示板）
ロードブック発行	11:00 ～	HQ
TGRRCC レッキ受付	11:00 ～ 11:30	HQ
TGRRCC レッキ	12:00 ～ 15:00	
選手権公式受付	12:00 ～ 13:00	HQ
選手権公式車検	12:10 ～ 13:40	王仁博士顕彰公園駐車場
サービス受付	13:00 ～ 15:00	HQ
選手権 レッキ	14:00 ～ 17:00	王仁博士顕彰公園駐車場
TGRRCC 公式受付	14:30 ～ 15:30	HQ
TGRRCC 公式車両検査	14:40 ～ 16:00	
第1回審査委員会	16:00 ～	HQ
スタートリスト公示	17:00	Sportity（電子掲示板）
2026年6月14日（日）	時間	場所
サービスパークオープン	6:30 ～ 18:00	王仁博士顕彰公園駐車場
HQ 開設時間	6:30 ～ 18:00	王仁博士顕彰公園
公式掲示板		Sportity（電子掲示板）
選手権 レグ1 スタート	8:30 ～	
TGRRCC 開会式/ブリーフィング	9:15 ～	HQ 前
TGRRCC レグ1 スタート	10:00 ～	王仁博士顕彰公園駐車場
選手権ラリーフィニッシュ (先頭車)	14:50 予定	王仁博士顕彰公園駐車場
選手権 暫定結果発表	15:00 予定	Sportity（電子掲示板）
選手権 正式結果発表	15:30 予定	Sportity（電子掲示板）
選手権 表彰式	15:30 予定	王仁博士顕彰公園 百済門前
TGRRCC ラリーフィニッシュ (先頭車)	15:40 予定	王仁博士顕彰公園駐車場

TGRRC 暫定結果発表	16:00 予定	Sportity (電子掲示板)
TGRRC 正式結果発表	16:30 予定	Sportity (電子掲示板)
TGRRC 表彰式	16:30 予定	王仁博士顕彰公園百済門前

*14日(日)選手権クラスのブリーフィングは実施しない。電子掲示板に資料添付のみ。

*TGRRCクラスで指定ステッカーを持っていない場合は公式受付で配布する。

第2条 競技会の名称

2026年JAF九州ラリー選手権第3戦

2026年JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第3戦

TOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2026 Cup in 神埼・吉野ヶ里

「第38回FMSCマウンテンラリー2026」

第3条 競技会の格式

JAF公認国内競技 公認番号：2026-5105

第4条 競技種目

ラリー競技開催規定細則：スペシャルステージラリー開催規定に従ったスペシャルステージラリー

第5条 開催日程及び競技開催場所

開催日程 2026年6月13日(土)～14日(日)

開催場所 佐賀県神埼市・吉野ヶ里町の一般道及び占有道路

ラリースタート/ラリーフィニッシュ

王仁博士顕彰公園 〒842-0121 佐賀県神埼市神埼町志波屋813-6

第6条 競技会本部(HQ)/サービスパーク

王仁博士顕彰公園 〒842-0121 佐賀県神埼市神埼町志波屋813-6

開設日時 6月13日(土) 10:00～17:30

6月14日(日) 6:00～18:00

第7条 コース概要

	選手権/オープンクラス	TGRRCクラス(OPEN)
スペシャルステージ路面	舗装9.9 ダート0.1	舗装9.9 ダート0.1
総走行距離	129.79Km	111.08Km
スペシャルステージ総距離	25.364Km	20.47Km
スペシャルステージ本数	6本	5本
レグ/セクション数	1/2	1/2

第8条 オーガナイザー

主催 JAF加盟クラブ 福岡モータースポーツクラブ(FMSC)

代表者 星野 元

所在地 〒818-0004 筑紫野市吉木1611-1 J&Sモータースポーツ内

TEL 092-980-7412 FAX 092-980-7180

E mail fmsc@outlook.jp

第9条 組織

9. 1 大会役員

大会会長 TBA

9. 2 大会組織委員会

組織委員長 星野 元

組織委員 三原静二 引間知広 秋竹 純

9. 3 競技役員

9. 3. 1 大会審査委員会

審査委員長 佐藤 裕 (JMRC 九州派遣) 審査委員 今村淳一 (組織委員会任命)

9. 3. 2 競技役員

競技長 星野 元 副競技長 三原静二

コース委員長 引間知広 計時委員長 福島一也

技術委員長 平田浩一 大会医師団長 紙谷孝則

救急委員長 山崎裕子 事務局長 秋竹 純

9. 3. 3 コンペティター リレーションズ オフィサー

C R O 早田 卓 行動スケジュールの詳細は細則5に記載

第10条 参加申込期間

参加申込期間	選手権クラス	2026年5月 9日(土) 5月26日(火)
	TGRRCクラス	2026年5月 16日(土) 5月26日(火)

第11条 参加申込み及び問合せ先

11. 1 TGRRC クラス参加申込及び問合せ先

TGRRC2026 シリーズ規則書第14、15、16、17条に従い下記へ参加申込みを行うこと。

【TGRRC 事務局】

〒355-0225 埼玉県比企郡嵐山町鎌形1607-7 TEL 0493-61-1185 FAX 0493-61-1186

URL <http://toyotagazooracing.com/jp/rallychallenge/>

* 電子車検証の車両においては申込時に車検証に代えて、「自動車検査証記録事項」を提出すること。

11. 2 選手権クラス参加申込及び問合せ先

【第38回FMSCマウンテンラリー2026 大会事務局】

〒818-0004 筑紫野市吉木1611-1 J&Sモータースポーツ内

電話 090-3194-0380 Email fmsc@outlook.jp

提出書類

下記①～⑧の必要書類を記入し、本特別規則第11条.2の大会オーガナイザー宛に電子メールで申込み、参加料は下記の口座に選手名で振り込むこと(手数料は自己負担)。

・メール送信や振り込みに対応出来ない場合は、事務局に問い合わせること。

① JMRC九州統一参加申込書(必ずPDFに変換した上で添付すること。写真は不可)

② ドライバー、コ・ドライバーの運転免許証・競技ライセンス・共済カード(両面)/スポーツ保険

加入証のコピー

※マイナ免許証の場合は事前に事務局へ問い合わせること

- ③ 自動車検査証の写し 電子車検証の車両は「自動車検査証記録事項」を提出すること。
- ④ コースレッキ参加申込
- ⑤ 参加料等の口座振り込みを証明するもの
- ⑥ 当ラリー競技会に有効な保険加入証または JMRC 九州ラリー特約保険の加入申込書
(ラリー特約保険に加入する場合は、参加申込前にドライバー、コ・ドライバーとも各自 JMRC 九州共済会及びスポーツ保険に加入済みであること)
- ⑦ 入金明細書
- ⑧ サービス登録用紙
- ⑨ **当日提出書類** (メール添付不要)

・誓約書 公式受付時に署名したものを提出

《 振込先 》

振込口座 佐賀銀行 那珂川支店 (普) 1067311

振込名義 福岡モータースポーツクラブ 会長 星野 元

11.3 参加料等

1) TGRRC クラス

TGRRC2026 シリーズ規則書に準ずる

- ・消費税・レッキ参加料・14日昼食代を含む
- ・競技車1台につき1区画スペース付き

2) 選手権クラス

消費税・レッキ参加料・競技車1台につき1区画スペース付き

- ・RH1, 2, 3, 4クラス 1台 48,000円
- ・RH5, 6クラス 1台 38,000円
- ・オープンクラス 1台 38,000円

選手権クラスについては、JAF九州地域クラブ協議会会則第16条、JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ規定フレッシュマン規定細則、および付則規約第4条-2に基づき、該当者は参加料が減免される。なお、学生については同規約第4条-5に準ずる

3) その他 (TGRRC クラス/選手権クラス)

サービススペース登録料 1区画=2.5M×5M (12.5㎡) 5,000円

- ・パーク内はスペースに限りがあるため、**サービス車両登録は1クルーにつき1スペースのみとする。**

- ・車両の登録がない場合、14日(日)はサービスパーク内への駐車はできない。

*TGRRC クラスは、エントリーが確定した後、登録選手名で直ちに第11条.2の記載先に振込むこと

第12条 参加受理後のクルーおよび参加車両の変更

TGRRC クラスは、TGRRC2026 シリーズ規則書第20条参加申込の受理・参加の拒否に準じ、コ・ドライバーを変更する場合、変更手数料として最大44,000円(税込)を支払うこと。

選手権クラスのコ・ドライバー及び参加車両の変更は、公式受付終了までに理由を付した変更届を

提出すること。なお参加クラスの変更を伴う参加車両変更は認められない。

第13条 保険

2026年日本ラリー選手権規定第18条に基づき、ラリー競技に有効な対人賠償保険ならびに搭乗者保険（1,000万円以上）への加入、またはJMRC九州共済会とスポーツ保険に加入（ドライバー、コ・ドライバー共にJMRC共済への加入が義務）し、かつラリー特約に加入していること。TGRRCクラスについては、TGRRC2026シリーズ規則書に従うこと。

第14条 音量規制

マフラーの変更は認めるが、音量は95db以下とする。（RPN車両のマフラー変更は認められない）

第15条 参加台数

本競技会の総参加台数は合計90台までとする。

第16条 クルー（ドライバー、コ・ドライバー）の遵守事項

本競技会で案内する「トラッキングアプリ」の起動をレッキ走行時から義務付ける。また、スタートリストで指示されたスタート時刻以降はサービスの時間中を除き、競技フィニッシュまで常にアプリを起動すること。

第17条 レッキの実施方法

17.1 レッキ受付日時・場所 6月13日（土）HQ 王仁博士顕彰公園

【TGRRCクラス】

受付 11:00～11:30 レッキブリーフィング 11:40（HQ前で実施）

レッキ 12:00～15:00

【選手権クラス】

受付 12:30～13:30 レッキブリーフィング 13:45（HQ前で実施）

レッキ 14:00～17:00

17.2 SS走行回数

・TGRRCクラス、選手権クラスともに2回走行

なお、SSSは14:00～15:00の間に徒歩でレッキを実施すること。

17.3 遵守事項

TGRRCクラスは、TGRRC2026シリーズ規則書第29条に従う。

なお、受付時に配布するレッキ指示書に従い注意事項を遵守すること。レッキの間、車両の指定位置にレッキゼッケンを貼付すること。

第18条 参加車両検査（公式車検）/ゼッケン・スポンサーマークの指定

※電子車検証の場合は当日「自動車検査証記録事項」を持参し、それを持って公式車検を受検すること。

全ての競技車両は、本規則に定めた時間内に公式車両検査を受けなければならない。車両検査結果が不適当と判断された車両および競技参加者は、本競技会に参加できない。公式車検は公式受付後、指定されたサービススペースにおいて実施する。

18.1 公式車両検査後及び競技終了後、完走した車両は入賞者の再車検終了までオーガナイザーが指定した場所で車両保管される。オーガナイザーの許可なしに車両の移動、調整、修理等はできない。

18.2 参加車両はオーガナイザーが決めたゼッケン・ステッカー等を指定の位置に貼付する事。

18.3 参加者は、競技の最終タイムコントロール通過後直ちに競技車両を車両保管場所に進入させ、下記の確認（再車両検査）を受けること。

- ・出走前に公式車両検査を受けた車両と同一であること。
- ・罰則の対象となる要因の有無。
- ・マーキングや封印等を実施した場合は、それが保持されているかどうかの確認。
- ・参加者は技術委員長の求めがあれば、各自の参加車両が車両規定に適合している旨を証明する為、車両規定に定める証明資料等を提示証明しなければならない。
- ・競技会審査委員会又は競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要と判断される場合オーガナイザーは分解を伴う再車検を行う。この際、必要な人員・部品工具等の費用は当該参加者の負担とする。

第19条 タイヤ・ホイール

選手権クラスは、2026年JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ車両規定②タイヤ・ホイールに準ずる。TGRRCクラスはTGRRC2026シリーズ規則書第80条に準ずる。なお本数の制限は無しとする。

第20条 タイムコントロール

20.1 公式時刻は、日本標準時（JST）を基準とした競技会計時委員の計時による。

20.2 選手権クラス、TGRRCクラスともに本競技会の最終TCは早着ペナルティの対象としない。

第21条 スペシャルステージ（スタート及び計時）

スタートはスタートリスト順、又は直前のTC通過順に1分間隔とする。ただし、競技者の安全確保のため、競技委員の判断により1分以上の間隔にすることができる。

21.1 自動計測器を使用し、1/10秒まで計測する。

21.2 スタートは原則スタートリスト順または直前のTC通過順に1分間隔とする。

21.3 スタートの方法および合図は、ラリー競技開催規細則：スペシャルステージラリー開催規定29条.6.7.8に従って行い、本特別規則細則2に示すカウントダウンシステム（フライングチェック機能も含む）を使用する。

第22条 整備作業の範囲

整備作業を行うことができる者は、当該車両のクルー及び登録されたサービスメンバーのみとする。整備作業内容は整備作業申告書を技術本部に提出の上、技術委員長の監督下において定められた場所でのみ認められる。なお、整備作業の範囲は以下の通りとする。

- ・タイヤ交換
- ・ランプ類のバルブ交換
- ・点火プラグの交換

- ・ Vベルトの交換
- ・ 各部点検増締め

2.2. 1 整備作業実施後は、技術委員長の確認を受けるものとする。

2.2. 2 整備作業の実施にあたっては、他の通行及び作業員の安全確保に十分留意して行うこと。

第23条 賞典

- ・ 選手権クラス 1位～3位 J A Fメダル、副賞 4位～6位 副賞
- ・ オープンクラス 1位～3位 副賞
- ・ TGRRC クラス TGRRC2026 シリーズ規則書に準ずる

※参加台数の少ないクラスにおいては賞典を制限する。

第24条 参加車両

地方選手権（九州ラリーチャンピオンシリーズ）に参加できる車両は、2026年日本ラリー選手権規定第13条に従った車両であること。RH1クラスの過給機付き車両はエアリストラクター（内径33mm）の装着を義務付ける。RPN車両の年次制限は行わない。

選手権オープンクラスに参加できる車両は、2026年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に従った車両とする。

第25条 クラス区分

2.5. 1九州ラリー選手権・九州チャンピオンシリーズ

RH1クラス 気筒容積 2,500ccを超えるRJ、RF、RPNおよび気筒容積区分なしのRRN車両

RH2クラス 気筒容積 1,500ccを超え2,500cc以下のRJ、RF、RPN車両

RH3クラス 気筒容積 1,500cc以下のRJ、RF車両

RH4クラス 気筒容積 1,500cc以下の2輪駆動のRPN車両

RH5クラス 気筒容積 1,500ccを超えるAT限定(駆動方式は問わない)の RJ、RF、RPN車両

気筒容積 1,500cc以下のAT限定の後輪駆動・4WDのRJ、RF、RPN車両、およびRH6クラスに含まれないAE車両(ATに限らない)

RH6クラス 気筒容積 1,586cc以下のAT限定前輪駆動のRJ、RF、RPN車両、および気筒容積 1,800cc以下のAT限定AE車両(HEV・PHEVはAE車両に限る)

2.5. 2選手権オープンクラス：排気量・駆動方式区分なし

2.5. 3TGRRCクラス：TGRRC2026シリーズ規則書に準ずる。

第26条 参加資格

2.6. 1クルーは競技中に有効な1,000万以上の傷害保険または、JMRC九州が発給した当該年度有効のメンバーズカードを所有し、スポーツ保険に加入していること。

2.6. 2クルーは、2026年JAF国内競技運転者許可証B以上の所持者でなければならない。

2.6. 3クルーは、参加申し込み締め切り時点において、本競技会に有効な運転免許を取得している

こと。

第27条 参加受理

27. 1 正式参加受理後の参加料及び参加申込書類は、オーガナイザーの都合で競技会を中止した場合を除き返還しない。

27. 2 オーガナイザーは、国内競技規則4-19に従って、エントリーを拒否する権利を有する。この場合、参加料は事務手続き費用として1件につき1,000円を差し引き返還する。

27. 3 選手権クラスの参加受理諾否はエントリーリストを発行することで受理書に換える。

第28条 参加者に対する指示及び公示（公式通知等）

本競技会は電子掲示板（Sportity）を公式掲示板として採用する。

28. 1 競技会審査委員会は国内競技規則4-9および10-10に従って、公式通知をもって参加者に指示を与えることができる。

28. 2 オーガナイザーは本特別規則書に記載されていない競技運営に関する指示事項を、公式通知等によって指示することができる。

第29条 サービスとサービスパークについて

29. 1 サービス申請が提出されたクルーについては競技車両+1台分のスペースを確保する。

29. 2 別途公開されるサービスパーク配置図に記載されたエリア以外の駐車は出来ない。

29. 3 指定のあったエリア内で完結できるように来場車両の調整を行うこと。

なお、指定場所以外の駐車や通行証の使用にあたり不正が発覚した場合は、審査委員会の判断により失格を上限としたペナルティとなる場合がある。

第30条 ドライバーズブリーフィング

TGRRCクラスは開会式およびブリーフィングを指定の時刻と場所で実施する。

選手権クラスは公式掲示板に資料添付のみとし、ブリーフィングは実施しない。質問がある場合は速やかに競技長またはCROに申し出ること。

第31条 燃料および電気等の補給

競技中はオーガナイザーが指定した場所以外での燃料補給・充電は認められない。燃料補給充電中はエンジンを停止するとともに、クルーは車外で待機するか、車内で待機する場合は安全ベルトを外していなければならない。

第32条 リタイヤ

32. 1 競技会の途中で競技を棄権する場合、また以降の競技に出場しない場合はその旨を書面にて競技役員に申し出て棄権しなければならない。

32. 2 競技から離脱した場合は速やかにCROへ連絡後、最寄りの競技役員にリタイヤ届を提出すること。提出が困難な場合は電話等の手段で競技会HQに連絡すること。

32. 3 リタイヤ又は失格となった場合は、直ちにゼッケン、ラリー競技会之証及びその他の競技会

関係貼付物を取り除くこと。

第33条 競技結果

競技結果は、スペシャルステージで記録された所要時間とロードセクション、その他で課せられたペナルティタイムを合計して決定する。

第34条 抗議等

34. 1 参加者は、自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第12条に従い、抗議する権利を有する。ただし、自分の参加拒否ならびに競技会審査委員会の判定に対する抗議はできない。

34. 2 競技会審査委員会の裁定は、抗議者に宣告される。

34. 3 エンクワイアリーシートに対する回答に納得がいらず抗議する場合は、抗議料1件につき53,300円を添え、文書により競技長に提出するものとする。抗議料は、その抗議が正当と裁定された場合のみ返還される。

34. 4 タイムカードに関する異議申し立てはその場で直ちに行い、現場の責任者の判定を最終とし、これに対する抗議は受け付けない。

34. 5 抗議が正当と裁定されなかった場合、必要経費は（作業料、運搬費用等）全てを抗議者が負担するものとする。

34. 6 競技に関する抗議はフィニッシュ後30分以内、成績に対する抗議は暫定結果発表後30分以内に行わなければならない、競技会技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。

第35条 競技会の成立、延期、中止、または短縮

35. 1 保安上、または不可抗力による事情が生じた場合は、審査委員会の決定によって競技会の開催を中止、延期、又はコースの短縮を行うことがある。又、中止・再競技の場合の日時は公式通知をもって公表する。

35. 2 競技の進行が、すべての参加者に対して不可能、又は著しい障害になったとき、又は他に及ぼす影響等で競技の続行ができなくなった場合、審査委員会の決定によって、打ち切り、及び特定区間の中断がなされる。その場合コース上の競技役員によって指示、又は対策を指示する。

35. 3 競技が打ち切りになった場合の成績は、競技打ち切り時点におけるものとする。

第36条 罰則（タイムペナルティを含む）

ラリー競技開催規定別添5：スペシャルステージラリーに適用される罰則に則り、該当する事が競技長によって認められた場合は、競技会審査委員会の裁定により罰則が適用となる。また、競技中「失格」と裁定された参加者は、それ以降の競技続行は出来ないものとする。なお、成績発表後に於いても「失格」の適用を受ける事がある。

第37条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

37. 1 本規則は本競技会に適用されるもので、参加受付と同時に有効となる。

37. 2 競技会中に本統一規則及び競技に関する諸規則（公式通知）の解釈についての疑義が生じた場合は競技会審査委員会が決定する。

37. 3 本規則書発行後、J A Fにより発表された公示は、すべての規則に優先する。

37. 4 その他の事項についてはJ A F国内競技規則とその細則、及びF I A国際モータースポーツ競技規則とその付則、2026年日本ラリー選手権規定、ラリー競技開催規定、J M R C九州ラリー統一規則書ならびにTOYOTA GAZOO Racing Rally Challenge 2026シリーズ規則書に準拠する。

「第38回F M S Cマウンテンラリー2026」大会組織委員会

細則1 アイテナリー

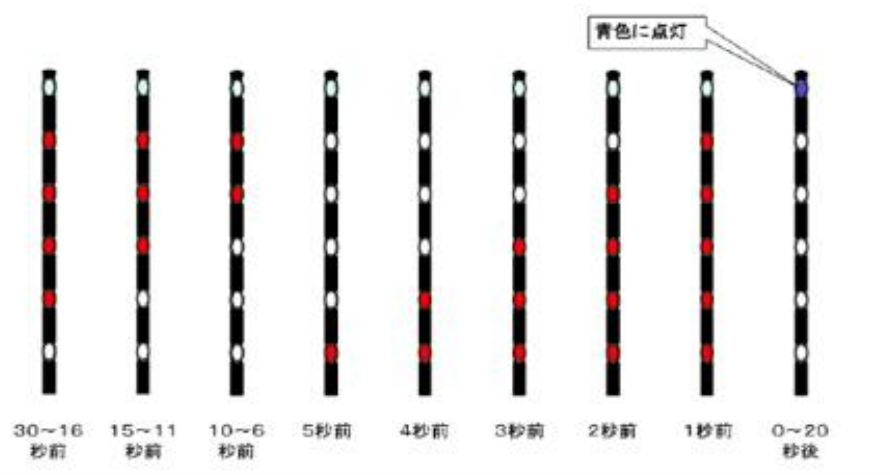
選手権クラス.

TC SS	Location/場所	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
TC0	Start					8:30
TC1	Yamada	山田	-	7.37	7.37	0:25 8:55
SS1	TomSayerM-1	トムソーヤM-1	5.17	-	-	8:58
TC2	Matsukuma	松隈	-	15.67	20.84	0:45 9:43
SS2	Sazanka-1	サザンカー-1	4.93	-	-	9:46
TC3	Yamada	山田	-	17.91	22.84	1:00 10:46
SS3	TomSayerM-2	トムソーヤM-2	5.17	-	-	10:49
TC3A	Service In	王仁博士公園	-	17.23	22.40	0:50 11:39
TC3B	Service Out	王仁博士公園				0:30 12:09
TC4	Omagari	大曲	-	1.07	1.07	0:05 12:14
SS4	SSS_Historic Park	ヒストリックパーク	0.27	-	-	12:17
			(15.54)	(59.25)	(74.79)	
TC4A	Regroup In	東背振庁舎	-	2.69	2.69	0:10 12:27
TC4B	Regroup Out	東背振庁舎				0:10 12:37
	Refuel	給油		0.15	0.15	
	Total to Refuel	スタート-給油	15.54	82.09	77.63	
TC5	Matsukuma	松隈	-	7.09	7.09	0:25 13:02
SS5	Sazanka-2	サザンカー-2	4.93	-	-	13:05
TC6	Yamada	山田	-	17.91	22.84	0:55 14:00
SS6	TomSayerM-3	トムソーヤM-3	5.17	-	-	14:03
TC6A	Rally Finish/Parc Ferme In	王仁博士公園	-	17.23	22.40	0:50 14:53
	Parc Ferme	バルクフェルメ (王仁博士公園)	(10.10)	(44.92)	(55.02)	
Rally Total			25.64	104.17	129.81	

TGRRC クラス.

TC SS	Location/場所	SS dist.	Liaison dist.	Total dist.	Target time	First car due
TC0	Start					10:00
TC1						
SS1						
TC2	Matsukuma	松隈	-	9.50	9.50	0:30 10:30
SS2	Sazanka-1	サザンカー-1	4.93	-	-	10:33
TC3	Yamada	山田	-	17.91	22.84	1:00 11:33
SS3	TomSayerM-2	トムソーヤM-2	5.17	-	-	11:36
TC3A	Service In	王仁博士公園	-	17.23	22.40	0:50 12:26
TC3B	Service Out	王仁博士公園				0:30 12:56
TC4	Omagari	大曲	-	1.07	1.07	0:05 13:01
SS4	SSS_Historic Park	ヒストリックパーク	0.27	-	-	13:04
			(10.37)	(45.71)	(56.08)	
TC4A	Regroup In	東背振庁舎	-	2.69	2.69	0:10 13:14
TC4B	Regroup Out	東背振庁舎				0:10 13:24
	Refuel	給油		0.15	0.15	
	Total to Refuel	スタート-給油	10.37	48.55	58.92	
TC5	Matsukuma	松隈	-	7.09	7.09	0:25 13:49
SS5	Sazanka-2	サザンカー-2	4.93	-	-	13:52
TC6	Yamada	山田	-	17.91	22.84	0:55 14:47
SS6	TomSayerM-3	トムソーヤM-3	5.17	-	-	14:50
TC6A	Rally Finish/Parc Ferme In	王仁博士公園	-	17.23	22.40	0:50 15:40
	Parc Ferme	バルクフェルメ (王仁博士公園)	(10.10)	(44.92)	(55.02)	
Rally Total			20.47	90.63	111.10	

細則2 スペシャルステージカウントダウンシステム



このシステムが故障した場合は、クルーに十分聞こえる声で「30秒前—15秒前—10秒前—5—4—3—2—1」の順にカウントダウンを行う。

細則3 ゼッケン等の添付場所

- ・選手権クラスゼッケンは「YOKOHAMA」3枚をボンネット、左右フロントドアに添付すること
- ・TGRRCクラスについては、TRRC2026シリーズ規則書に準ずる
- ・ラリー競技会之証は、左リアガラスに添付すること

細則4 サービスパーク及びHQレイアウト図



細則5 CRO連絡先及び行動スケジュール

CRO 早田 卓(そうだ たかし) 連絡先 090-3602-2343

6月13日(土)

10:00~16:00 HQおよびサービスパーク(受付・車検)

16:00~ HQ

6月14日(日)

6:30~9:00 HQおよびサービスパーク

9：00～ 開会式/セレモニアルスタート
10：00～ HQ

細則 6 スーパースペシャルステージ

本ラリーはスペシャルステージ4をF I Aレジオナルラリー競技規則第5 1. 2条を適用したスーパースペシャルステージ (SSS) とする。スタートは原則1分間隔とし、前走車のフィニッシュが確認できない場合は、オフィシャルの指示によりスタートを遅らせる場合がある。

また、コース上に競技車が停止した場合は、オフィシャルによって停止車をコース外へ排除後、安全を確認した上でスタートを再開する。オフィシャルによって排除された停止車のクルーには、3分のステージタイムを与える。この場合、該当クルーはステージを完了したものとみなされ、次のステージへ進む事ができる。なお、走行が不可能の場合にはリタイヤとなる。

SSS におけるペナルティ規定として下記内容を追加する。

1. スタート・フィニッシュラインに設置しているパイロンへの接触は、1個につき5秒のペナルティとする。
2. コース上に設置しているウォータードラムへの接触は、当初の位置から動かない場合（修正が必要ない場合）はペナルティをとらない。ただし、修正が必要なレベルでの移動または転倒があった場合はミスコースとして扱う。
3. ミスコースをした場合は、本SSのクラス内最遅タイム+10秒を与えるものとする。